



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 住友軽金属工業株式会社  
 コード番号 5738 URL <http://www.sumitomo-LM.co.jp>  
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 山内重徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 坂上 淳  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

上場取引所 東大

TEL 03-3436-9771

平成24年12月7日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	128,864	△4.4	6,562	△20.9	5,351	△24.6	2,381	△57.6
24年3月期第2四半期	134,794	3.3	8,297	△3.1	7,093	10.4	5,610	39.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,604百万円 (△54.9%) 24年3月期第2四半期 5,772百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	4.09	—
24年3月期第2四半期	10.61	10.61

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭		
25年3月期第2四半期	319,747	17.0	55,129	17.0	93.26	93.26		
24年3月期	322,150	16.3	53,261	16.3	90.11	90.11		

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 54,234百万円 24年3月期 52,402百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
25年3月期	—	1.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	255,000	△1.5	12,000	△2.8	10,000	△1.8	5,000	△39.7	8.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	581,538,867 株	24年3月期	581,538,867 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	58,339 株	24年3月期	52,980 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	581,482,348 株	24年3月期2Q	528,408,343 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)個別業績予想

平成 25 年 3 月期の個別業績予想(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	135,000	△17.7	4,300	△36.8	1,300	△92.5	2.23

(注)直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無 : 有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用範囲の変更 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興需要やエコカー補助金制度等の経済対策効果を背景に、景気には緩やかな持ち直しの動きが見られました。しかしながら、欧州債務問題の長期化による経済の減速や、円の高止まり・株安の進行等によりその回復ペースは足元で鈍化しており、景気をとりまく環境は依然として不安定で厳しい状況が続いております。

こうした状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、IT機器用アルミ部材中心の需要回復に加えて、日立電線(株)の国内銅管事業撤退を受けた顧客からの供給要請への対応による銅管の販売量増加等により、前年下半期比では、売上高は増加し、損益面においても営業利益、経常利益ともに大幅に好転いたしました。しかしながら、震災を原因とする特殊要因によりアルミ缶材の販売が高水準であった前年同期と比べますと、売上高は128,864百万円(前年同期比4.4%減)となりました。損益面におきましては、販売量の減少やエネルギー価格の上昇等の影響により、営業利益は6,562百万円(同20.9%減)、経常利益は5,351百万円(同24.6%減)となり、純利益につきましても、株価の大幅な下落による投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等により、2,381百万円(同57.6%減)と、いずれも前年同期を下回りました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

#### アルミ圧延品部門

自動車用やIT機器用の販売が増加したものの、コンデンサ用を中心とした箔の販売が落ち込んだことや、前年同期の飲料缶用の販売が震災による不足分の補充や夏期の電力制限を想定した顧客の先行生産への対応等で高水準であったこと等により、当第2四半期連結累計期間のアルミ圧延品部門の売上高は83,213百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益は6,427百万円(同26.7%減)となりました。

#### 伸銅品部門

業務用エアコン向け等の需要が堅調に推移したことや、日立電線(株)の国内銅管事業撤退を受けた顧客の供給要請への対応等により、国内向けを中心とした銅管の販売が前年同期と比較して上向きであった結果、当第2四半期連結累計期間の伸銅品部門の売上高は27,850百万円(前年同期比0.7%増)となりました。また、損益面におきましては、昨年実施した事業再編の効果等も加わった結果、営業利益は1,257百万円(同31.9%増)となりました。

#### 加工品・関連事業部門

産業機器関連の需要が前年同期と比べて減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の加工品・関連事業部門の売上高は17,800百万円(前年同期比6.3%減)となりました。しかしながら、営業利益につきましては、加工品事業の構造改革効果が発揮されたこと等により、494百万円(同127.2%増)となりました。

当社は、関係当局の許認可の取得及び株主総会での承認を前提として、古河スカイ株式会社と、平成25年10月1日(予定)に対等の精神に基づき経営統合することを平成24年8月29日に合意いたしました。本経営統合により、各々の会社で培ってきた総力を結集し、経営資源・資産の融合による相乗効果を発揮することで、グローバルマーケットで確固たる存在感を持つ「世界的な競争力をもつアルミニウムメジャー会社」となることを目指します。詳細につきましては、平成24年8月29日発表の「古河スカイ株式会社と住友軽金属工業株式会社との統合基本合意書締結に関するお知らせ」をご覧ください。

### (2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、投資有価証券評価損の計上に加え、想定を上回る世界的な景気低迷により、第3四半期以降の需要・販売が当初の予想を下回ると見込まれます。この結果、平成24年5月15日に公表いたしました予想を修正し、見直し後の連結業績予想は売上高2,550億円(前期比1.5%減)、営業利益120億円(同2.8%減)、経常利益100億円(同1.8%減)、当期純利益50億円(同39.7%減)を見込んでおります。

詳細につきましては、本日(平成24年11月8日)公表いたしました「平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、住軽商(大連保税區)貿易有限公司と住軽商事(昆山)金属制品有限公司の2社を、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、株式会社SKスリッティングは、連結子会社である株式会社SKコーポレーションと合併したため、連結の範囲から除外しております。

当第2四半期連結会計期間より、株式会社アルカットの株式を追加取得し子会社となったため、連結の範囲に含めております。また、株式会社日本アルミ及び株式会社日本アルミ滋賀製造所は連結子会社である岩井金属工業株式会社と合併したため、連結の範囲から除外しております。なお、岩井金属工業株式会社は、本合併に伴い、株式会社ナルコ岩井へと商号変更を行っております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,023	10,576
受取手形及び売掛金	43,774	41,322
商品及び製品	16,630	16,998
仕掛品	15,798	16,106
原材料及び貯蔵品	6,864	7,897
その他	10,179	8,543
貸倒引当金	△49	△30
流動資産合計	102,220	101,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,687	24,293
機械装置及び運搬具(純額)	12,166	11,663
土地	95,601	95,410
その他(純額)	17,235	17,949
有形固定資産合計	149,690	149,317
無形固定資産	944	989
投資その他の資産		
投資有価証券	44,042	43,267
その他	25,606	24,932
貸倒引当金	△354	△173
投資その他の資産合計	69,294	68,027
固定資産合計	219,929	218,334
資産合計	322,150	319,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,179	71,387
短期借入金	85,309	84,676
コマーシャル・ペーパー	2,999	2,999
未払法人税等	725	1,017
賞与引当金	398	404
その他	14,347	13,058
流動負債合計	171,960	173,542
固定負債		
長期借入金	66,288	60,719
退職給付引当金	6,285	6,567
負ののれん	292	202
その他	24,061	23,585
固定負債合計	96,928	91,075
負債合計	268,889	264,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,459	28,459
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	24,355	26,052
自己株式	△5	△5
株主資本合計	58,301	59,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	512
繰延ヘッジ損益	△201	15
土地再評価差額金	10,665	10,644
為替換算調整勘定	△16,391	△16,936
その他の包括利益累計額合計	△5,898	△5,763
少数株主持分	858	894
純資産合計	53,261	55,129
負債純資産合計	322,150	319,747



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	134,794	128,864
売上原価	115,703	111,436
売上総利益	19,090	17,427
販売費及び一般管理費	10,793	10,865
営業利益	8,297	6,562
営業外収益		
受取利息	208	221
受取配当金	72	118
持分法による投資利益	—	459
工事負担金受入額	821	—
その他	446	388
営業外収益合計	1,548	1,188
営業外費用		
支払利息	1,907	1,700
その他	844	699
営業外費用合計	2,752	2,399
経常利益	7,093	5,351
特別利益		
負ののれん発生益	134	501
その他	833	126
特別利益合計	968	628
特別損失		
投資有価証券評価損	1,173	1,674
その他	377	737
特別損失合計	1,550	2,411
税金等調整前四半期純利益	6,510	3,567
法人税、住民税及び事業税	797	1,003
法人税等調整額	58	114
法人税等合計	855	1,118
少数株主損益調整前四半期純利益	5,655	2,449
少数株主利益	45	68
四半期純利益	5,610	2,381

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,655	2,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	484
繰延ヘッジ損益	△907	125
為替換算調整勘定	1,788	143
持分法適用会社に対する持分相当額	△759	△599
その他の包括利益合計	116	154
四半期包括利益	5,772	2,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,689	2,537
少数株主に係る四半期包括利益	82	66

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 部門	伸銅品部門	加工品・関連 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	88,136	27,656	19,001	134,794	—	134,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	913	171	880	1,965	△1,965	—
計	89,050	27,827	19,882	136,760	△1,965	134,794
セグメント利益	8,763	953	217	9,934	△1,637	8,297

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,637百万円には、たな卸資産の調整額5百万円、セグメント間取引消去176百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,818百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 部門	伸銅品部門	加工品・関連 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	83,213	27,850	17,800	128,864	—	128,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	895	259	2,974	4,130	△4,130	—
計	84,109	28,109	20,775	132,994	△4,130	128,864
セグメント利益	6,427	1,257	494	8,180	△1,617	6,562

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,617百万円には、たな卸資産の調整額1百万円、セグメント間取引消去136百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,756百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成24年4月1日付で、当社連結子会社である株式会社アルミセンターの伸銅品部門を、同じく当社連結子会社であるスミケイ銅管販売株式会社へ事業譲渡いたしました。

上記事業再編に伴う社内管理区分の変更により、第1四半期連結会計期間より、従来「加工品・関連事業部門」に含めていた事業の一部を「アルミ圧延品部門」及び「伸銅品部門」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。